

気仙沼・南三陸圏域 取組方針 フォローアップ様式

H30, R1 (H31) 詳細版

資料1-1

1)ハード対策の主な取組

■洪水を安全に流すためのハード対策

具体的な取組		取組機関		H30	実施内容	R1(H31)	取組内容(予定)
1	<青野沢川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
2	<只越川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
3	<鹿折川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
4	<大川*> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
5	<面瀬川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
6	<沖ノ田川> ・堤防整備	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
7	<津谷川*> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事, 河川整備工事により実施。	継続実施	災害復旧工事, 河川整備工事により実施。
8	<馬籠川> ・河道掘削	県	目標 実績	継続実施 継続実施	河道掘削工事により実施。	継続実施	河道掘削工事により実施。
9	<外尾川> ・堤防整備	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
10	<伊里前川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
11	<港川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
12	<稲淵川> ・堤防整備	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
13	<桜川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
14	<新井田川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
15	<八幡川> ・堤防整備	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
16	<水尻川> ・堤防整備	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
17	<折立川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
18	<西戸川> ・堤防整備	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
19	<水戸辺川> ・堤防整備 ・河道掘削	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。
20	<長清水川> ・堤防整備	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事により実施。	継続実施	災害復旧工事により実施。

*支川を含む

■危機管理型ハード対策

具体的な取組		取組機関		H30	実施内容	R1(H31)	取組内容(予定)
21	堤防天端の保護	県	目標 実績	継続実施 継続実施	災害復旧工事を実施。	継続実施	災害復旧工事を実施

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

具体的な取組		取組機関		H30	実施内容	R1(H31)	取組内容(予定)
22	雨量水位等の観測データおよび洪水時の状況を把握・伝達するための危機管理型水位計、河川監視用カメラ等の基盤整備 簡易な水位情報として、危機管理型水位計を整備: 松川, 八瀬川, 津谷川, 馬籠川, 八幡川, 折立川, 西戸川	県	目標	完了	松川,八瀬川,津谷川,馬籠川,八幡川,折立川,西戸川にて設置完了		
	実績		完了				
	河川監視用カメラ: 大川, 鹿折川		目標	完了	大川(大川本町)、鹿折川(鹿折大橋)設置完了		
	住民が日頃から水位を認識しやすいよう、橋脚や護岸へ水位表示板を整備	県	目標 実績			実施	鹿折川(鹿折大橋)へ設置を計画
23	庁舎や排水機場等の耐水性の確認・耐水化	県	目標 実績	継続実施 継続実施	庁舎の非常用電源等を確認	継続実施	庁舎の非常用電源等を確認

気仙沼・南三陸圏域 取組方針 フォローアップ様式

H30, R1 (H31) 詳細版

資料1-1

2) ソフト対策の主な取組 ①住民の主体的で安全な避難行動を促す日頃からのリスクコミュニケーションの取組
 ■洪水時等の速やかな情報伝達及び避難計画等に資する取組

具体的な取組		取組機関	H30	実施内容	R1(H31)	取組内容(予定)	
1	避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成 毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認	県	目標 実績	継続実施 継続実施	大川(大川本町)鹿折川(鹿折大橋)でH29.6.1運用開始	継続実施	連絡体制を確認・運用していく
		気仙沼市	目標 実績	継続実施 継続実施	県が作成したタイムラインを運用	継続実施	県が作成したタイムラインを運用
2	ホットラインの構築 毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認	県	目標 実績	継続実施 継続実施	大川(大川本町)鹿折川(鹿折大橋)でH29.6.1より運用済み	継続実施	連絡体制を確認・運用していく
		仙台管区 気象台	目標 実績	継続実施 継続実施	気象台から市町村担当者へのホットラインを4回実施した。気仙沼・南三陸圏域内の市町村へは2回実施。	継続実施	引き続き、重大な災害が予想されるような状況において実施する。
		気仙沼市	目標 実績	継続実施 継続実施	県が構築したホットライン及び気象庁とのホットラインを運用	継続実施	県が構築したホットライン及び気象庁とのホットラインを運用
		南三陸町	目標 実績	継続実施 継続実施	気象台～町長、係間のホットラインの運用	継続実施	継続運用する
3	水位周知河川の追加指定	県	目標 実績	継続実施 継続実施	検討準備		追加検討を実施予定
4	市町村の役場等に係る河川について、簡易な方法も活用して浸水想定及び河川水位等の情報を提供 毎年、協議会において水害危険性の周知の実施状況を確認	県	目標 実績	順次実施 順次実施	県HPや宮城県土木部総合情報システムにより浸水想定・水位情報を公開。	順次実施	継続して水害に関する情報を公開していく。
		気仙沼市	目標 実績	順次実施 順次実施	市HPに河川水位情報等の入手先をまとめた「防災・災害情報」ページを作成し公表	順次実施	インターネット等を活用し情報提供していく
		南三陸町	目標 実績	順次実施 順次実施	危機管理型水位計の設置要望	継続実施	継続要望
5	ダム情報も含めた防災情報を集約したポータルサイトの整備（宮城県土木部総合情報システムを運用中）	県	目標 実績	継続実施 継続実施	宮城県土木部総合情報システムを運用	継続実施	宮城県土木部総合情報システムを運用。スマートフォンサイトの開設。
6	プッシュ型の避難勧告等の情報発信（緊急速報メールや登録制メール、Lアラート等の活用）	気仙沼市	目標 実績	継続実施 継続実施	プッシュ型の伝達手段(防災行政無線、緊急速報メール、登録制メール、Lアラート)に加え、プル型の伝達手段(市HP, SNS, コミュニティFM)を活用し情報を発信	継続実施	プッシュ型、プル型の伝達手段を活用し情報を発信していく
		南三陸町	目標 実績	継続実施 継続実施	避難勧告等の発令なし 防災訓練で使用確認	継続実施	
7	防災行政無線戸別受信機や防災ラジオ等の配布	気仙沼市	目標 実績	継続実施 継続実施	難聴地域の方を対象に戸別受信機の無償貸付を実施	継続実施	難聴地域の方を対象に戸別受信機の無償貸付を実施
		南三陸町	目標 実績	継続実施 継続実施	防災行政無線戸別受信機の更新	継続実施	
8	要配慮者利用施設の管理者への説明会・出前講座等の実施	県	目標 実績	継続実施 継続実施	県ホームページで出前講座を受付。	継続実施	引き続き出前講座を受付・実施していく。
		仙台管区 気象台	目標 実績	継続実施 継続実施	要配慮者利用施設の管理者への説明は行っていない。出前講座については要望がある都度実施している。	継続実施	自治体や関係機関等が主催する要配慮者利用施設の管理者への説明会等に出席する。出前講座については要望に応じて対応する。
9	要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の促進 避難確保計画の作成状況、避難訓練の実施状況について、毎年、協議会の場において進捗状況を確認	県	目標 実績	順次実施 順次実施	要配慮者利用施設の避難確保計画策定支援に向け、関係機関への説明・ヒアリングを実施。	順次実施	関係機関への情報提供や、施設向け講習会を開催していく
		気仙沼市	目標 実績	順次実施 順次実施	地域防災計画修正準備	順次実施	地域防災計画の修正、避難確保計画の作成及び訓練実施の促進を図る
		南三陸町	目標 実績	順次実施 実施	土砂法の規定に該当する要配慮者利用施設(慈敬園)については、避難計画作成及び訓練実施について確認	継続確認	
10	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善 (水害時の情報入手のし易さをサポート)	仙台管区 気象台	目標 実績	継続実施 継続実施	機会があることに、避難情報の参考となる気象情報の入手方法や利用方法について説明を行った。	継続実施 継続実施	引き続き、気象情報の入手方法や利用方法について説明を行う。

気仙沼・南三陸圏域 取組方針 フォローアップ様式

H30, R1 (H31) 詳細版

資料1-1

■ 平時における住民等への周知・防災教育・訓練に関する取組

具体的な取組		取組機関	H30	実施内容	R1(H31)	取組内容(予定)
11	想定最大規模降雨による浸水想定区域図、時系列洪水氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	県	目標 順次実施 実績	大川・鹿折川の浸水想定区域図の作成を開始。	順次実施	6月末までに大川・鹿折川の浸水想定区域図を公表。
12	想定最大規模の洪水での隣接市町村間の避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知協議会の場を活用し、有良事例を紹介	気仙沼市	目標 実績	-	順次実施	想定最大規模降雨による浸水想定区域図等公表後、ハザードマップの作成・周知を行う
13	ホットライン・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練の実施および見直し	県	目標 実績	大川を対象に、タイムラインに基づいた洪水対応演習を実施。	順次実施	鹿折川を対象に、タイムラインに基づいた洪水対応演習を実施。
		仙台管区 気象台	目標 実績	宮城県内の自治体が主催する訓練に参加した。	継続実施 継続実施	自治体が主催する訓練に参加する。
		気仙沼市	目標 実績	県が実施した洪水対応演習(情報伝達訓練)に危機管理監が参加	順次実施	県が実施する洪水対応演習等に参加する
14	水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施	気仙沼市	目標 実績	共同点検や避難訓練実施の検討	順次実施	地域住民が参加する共同点検を実施する
		南三陸町	目標 実績	荒町地区行政区長と西戸川の状況について確認した結果を、31.2.5登米市で実施された土砂災害防止に関する意見交換会において確認をした際、気仙沼土木事務所次長から「西戸川の堆積土砂については把握をしている。」との回答を得ている。	順次実施	
15	各構成員が保有する浸水実績等に関する情報を共有市町村において速やかに住民等に周知	県	目標 実績	過年度の主な水害記録を県HPで公開。	継続実施	引き続き県HPで公開し、実績に応じて更新していく。
		気仙沼市	目標 実績	浸水被害状況等を市HPに掲載	順次実施	浸水被害状況等を市HPに掲載していく
		南三陸町	目標 実績	当町における過去の浸水実績は近年では台風18号による西戸川の氾濫であり、土砂災害住民説明会及び区長宅訪問により周知		
16	小中学校等における水防災教育・出前講座等を活用した講習会等の実施平成30年度末までに国の支援により作成した指導計画を協議会の関連市町村における全ての学校に共有	県	目標 実績	県ホームページで出前講座を受付・実施	継続実施	引き続き出前講座を受付・実施
		仙台管区 気象台	目標 実績	平成30年度は実施していない。	継続実施 継続実施	要望に応じて参加する。
		気仙沼市	目標 実績	小中学校及び自治会等で防災講座を実施	継続実施	小中学校及び自治会等で防災講座を実施
		南三陸町	目標 実績	水防災に特化せず防災全般にわたる教育を地域の消防署と協力し行っている。	継続実施	

2) ソフト対策の主な取組 ②発災時に人命と財産を守る水防活動の強化に関する取組

■ より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

具体的な取組		取組機関	H30	実施内容	R1(H31)	取組内容(予定)
17	関係機関が連携した水防訓練・水防団等同士の連絡体制の再確認の実施	気仙沼市	目標 実績	各種会議等において連絡体制を再確認	順次実施	各種会議等において連絡体制を再確認するとともに毎月1日無線訓練を実施する
18	水防団等の募集・指定を促進	気仙沼市	目標 実績	市広報誌、消防団広報誌等で団員募集	順次実施	市広報誌、消防団広報誌等で団員募集する
19	重要水防箇所の合同巡視	県	目標 実績	気仙沼市3箇所、南三陸町10箇所を実施。	継続実施 継続実施	気仙沼市、南三陸町の水防部局と合同で実施予定。
		気仙沼市	目標 実績	重要水防箇所の合同巡視に参加	順次実施	重要水防箇所の合同巡視に参加する
		南三陸町	目標 実績	気仙沼土木事務所との合同巡視を実施	順次実施	
20	水防資機材の保有状況の確認	県	目標 実績	資機材(おの、なた等)灯等の購入、吸着剤等の在庫確認の実施	継続実施 継続実施	資機材(おの、なた等)灯等の購入、吸着剤等の在庫確認の実施
		気仙沼市	目標 実績	春と秋に機械器具点検を実施	継続実施	春と秋に機械器具点検を実施

重要水防箇所の手同点検

- 平成30年5月18日及び5月25日に、より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に向けて重要水防箇所の手同点検を実施しました。
- 馬籠川（気仙沼市）、折立川（南三陸町）等の重要水防箇所において、関係機関と手同点検を行い、各箇所の情報を共有することにより、洪水時の監視・水防活動のための連携強化を図りました。
- 令和元年度においても取組を継続し、関係機関が連携した水防活動の実施に向けて努めてまいります。



馬籠川（教学橋付近）



折立川（並石橋付近）

みやぎ出前講座の開催

- 平成30年11月25日(日)に気仙沼市新城東自治会館において、みやぎ出前講座(水害から命を守るために～ハザードマップによる洪水への備え～)を開催しました。
- 新城東自治会の皆様に対し、大川周辺の水害実績や、洪水ハザードマップに表示される浸水想定の見方、水位や雨量の防災情報の取得方法等について説明しました。対象自治会は、出水時の避難経路について、危険箇所や注意点をまとめたマップを作成していました。
- 今後も防災情報を広く周知するため、出前講座を実施していく予定です。



開催状況写真



新城東自治会により作成した避難経路マップ

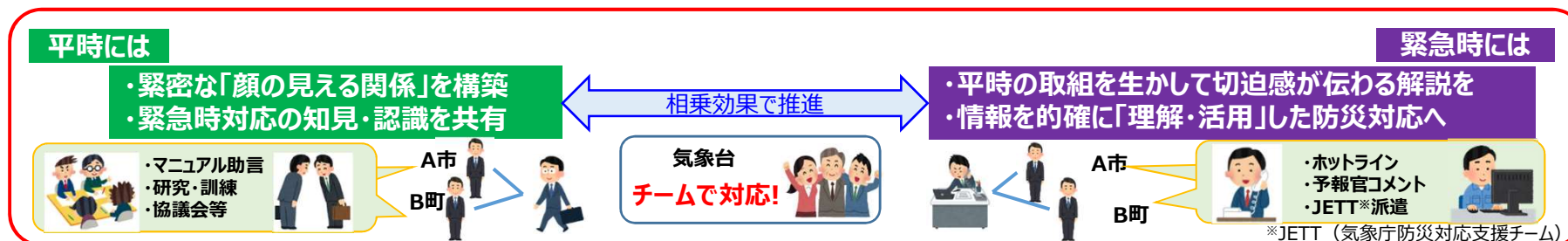
地域防災支援強化【令和元年度の取り組み】 仙台管区気象台

【地域防災支援強化】

近年相次いで発生している風水害等の災害を踏まえ、住民の的確な防災行動に結びつくよう、市町村、県、関係機関等と一体となって、地域の気象防災に一層貢献するため取り組んで参ります。

具体的には、平時から緊密な「顔の見える関係」を構築し、防災気象情報の解説や地域特有の災害リスク等を共有します。また、協議会と連携して地域の防災力向上に直結する取組を更に進めます。緊急時（悪天等）においては、防災気象情報の切迫感が伝わる解説のほか、ホットライン等により、警戒体制の確立や避難情報発令等判断に関する支援を実施します。

**個々の市町村に対し、地域に密着して、より強力に取組を推進
平時から緊急時まで、常に地域に寄り添います！**



平時

- **市町村訪問等の「顔の見える関係」の強化**
→ 平時から緊密な「顔の見える関係」を構築し、気象などに関する“ワンストップ”での支援を実施します。
- **災害リスクや気象情報利活用に関する研修・訓練への協力**
→ 各市町村等が行う訓練にシナリオ作成や訓練用の情報提供などで積極的に協力します。また、ワークショッププログラム等を活用した実践的な勉強会なども一緒にすすめていきます。
- **地域防災計画や避難勧告マニュアル修正への協力**
→ 市町村地域防災計画等の修正作業の際は、具体的修正案を示し協力します。
- **日頃からの予報官コメントやメール等による解説**
→ 予想される大雨等の現象を早期に伝えるとともに、大雨等の発生時には气象台の持つ危機感を即時的に伝えることにより市町村の防災対応を支援します。
- **協議会等との日頃からの連携**
→ 減災対策協議会等と積極的に連携し、地域の気象防災に一層貢献するため取り組んでいきます。

緊急時

- **台風等説明会**
→ 台風や発達する低気圧等により顕著な現象が予測された場合は、積極的に開催し予想される進路や影響などを解説します。
- **予報官コメント、ホットライン**
→ 平時に積み重ねた各自治体との関係や共通認識等を十二分に活用し、現象の推移に応じてポイントを絞った解説をします。
 - ・ 社会に大きな影響を与える現象が予見される際、その可能性が高くなるとも、予測の困難性・不確定性も含め早い段階からその旨を解説し、危機感を共有します。
 - ・ 利用者の立場に立って气象台の考えがより分かるよう頻繁に情報を発出をします。また、顕著現象が発生する前から注目していただきたい情報等や切迫感を伝えます。
- **JETTの派遣**
→ 災害発生・予見時に都道府県または市町村に气象台職員を迅速に派遣し、気象状況を適時に解説します。